

藝文協だより

第263号

令和3年6月
〒930-0096 富山市舟橋北町7-1
県教育文化会館内
☎(076)441-8635(内線123)



第74回理事会・第9回社員総会を開催 コロナ禍に対応した新しい活動が高く評価

一般社団法人富山県芸術文化協会の第74回理事会を5月12日(水)午後3時より、第9回社員総会を5月26日(水)午前11時より開催しました。

ANAクラウンプラザホテル富山3階「鳳」で開催された第74回理事会には、来賓に出来田肇県生活環境文化部長と、伊藤彰彦県生活環境文化部文化振興課長を迎え、理事等約70名が出席しました。木下晶芸文協会長の挨拶の後、出来田部長よりご祝辞を頂き、その後の議事で令和2年度事業・決算報告案、令和3年度事業計画・予算案などが承認されました。

第9回社員総会は富山県民会館8階バンケットホールで開催され、来賓として水落仁県生活環境文化部次長、伊藤文化振興課長をお迎えし、芸文協加盟団体代表者ら約60名が出席しました。水落次長よりご祝辞を頂き、事業報告、事業計画等に続き、役員の変更案、役員報酬案など、全ての議案が承認されました。

理事会・社員総会では、昨年度からのコロナ禍に対応した、各事業における新たな取り組みが紹介されました。感染症対策を講じた展覧会や公演の開催、インターネットを活用したリモート公演やレッスン、動画配信など、「新しい生活様式」に応じた様々な活動に対し、高く評価するご意見を頂きました。

新役員の詳細は、2ページ「役員の異動」、3ページ「令和3年度役員名簿」を、令和3年度事業計画は2ページをご参照ください。

分野を超えた彩り豊かなステージ!

第70回 富山県芸術祭祝祭公演

7月中旬
チケット
発売予定

日時 2021年10月31日(日)
A公演:13時開演/B公演:16時開演(予定)

※A、Bは別々のプログラムです

会場 富山県民会館 ホール

出演・協力:芸文協加盟団体

今年第70回を迎える富山県芸術祭を記念し、芸文協加盟団体による舞台公演を開催します。美術・文芸などジャンルを超えて「立山」をテーマにした作品も上演。見応えのあるステージをお届けします!

※新型コロナウイルス感染症対策を行い開催します。

魅力ある事業をめざして 令和3年度事業計画

(令和3年6月現在)

主催事業

第46回富山県青少年美術展

9月11日(土)～14日(火)

富山県民会館美術館・地下展
示室・ギャラリー

第4回とやまこども舞台芸術祭

《とやまこども伝統文化ワークショップ》

8月7日(土)

《舞台公演》

8月8日(日)

《とやま国際こども美術展2021》

8月7日(土)・8日(日)

富山県教育文化会館

国際芸術文化交流事業

芸術文化指導者招へい事業

6月～令和4年3月

広報誌「藝文協だより」

263号～267号刊行

総合文芸誌『とやま文学』第40号

刊行(第40回とやま文学賞)

総合機関誌『藝文とやま』第50号

刊行

県民芸術文化祭2021参加

第70回富山県芸術祭

6月～令和4年2月

県内一円 加盟35団体

第70回富山県芸術祭 祝祭公演

10月31日(日)

富山県民会館

第27回富山県いけばな公募展

7月10日(土)・11日(日)

富山県民会館地下展示室

令和3年度「茶の湯文化講座」

12月12日(日)(予定)

富山県教育文化会館

国際交流事業

①とやま国際アートキャンプ2021

10月(予定) 会場未定

作品展：11月27日(土)～30日(火)

富山県民会館

②日中友好交流事業 富山県・遼寧省

友好写真交流展2022

令和4年2月5日(土)・6日(日)

〔富山開催〕

富山県民会館

〔遼寧省開催〕

10・11月(予定) 会場未定

③日韓友好交流事業 日韓国際

交流書藝展2021

10月3日(日)～17日(日)

韓国・江原道 国立春川博物館

〔新しい生活様式〕 対応型芸術

文化活動普及事業

6月～令和4年3月

受託事業

県民芸術文化祭2021

総合フェスティバル準備事業

《オープニングフェスティバル》

9月18日(土)

《生活文化展》

9月18日(土)～20日(月・祝)

砺波市文化会館、砺波市農

村環境改善センター

令和3年度県民ふれあい公演

(期日)未定

中央通アートプロムナード

4月8日(木)～令和4年4月26日(火)

北陸銀行本店

ほくぎんアートギャラリー

4月8日(木)～令和4年4月5日(火)

北陸銀行本店

ほくぎんアートプロムナード一番町

4月16日(金)～令和4年4月15日(金)

北陸銀行越前町支店

ほくぎんアートプロムナード清水町

4月16日(金)～令和4年4月15日(金)

北陸銀行清水町支店

*中央通アートプロムナードほく

ぎんアートプロムナード清水町の

出品者会期は、5ページに掲載

共催事業

第76回富山県美術展

6月5日(土)～11日(金)

富山県民会館

とやま舞台芸術祭2021

①オペラ「カルメン」

11月28日(日)

富山市芸術文化ホール

(オーバード・ホール)

②ダンス・エキシビジョン in

とやま2021

令和4年2月6日(日)(予定)

富山県高岡文化ホール

美の祭典 越中アートフェスタ

2021

11月20日(土)～24日(水)

富山県民会館

第4回とやま世界こども舞台芸術祭(PAT2022)

2021年度事前準備事業

2021年度事前準備事業

その他事業

富山県芸術文化協会

創立50年・第70回富山県芸術祭

記念式典・祝賀会

11月3日(水・祝)

ANAクラウンプラザホテル富山

第8回富山ひまわり賞贈呈式

11月3日(水・祝)

ANAクラウンプラザホテル富山

第16回富山県芸術文化協会

「北日本新聞社ゴルフ大会」

10月14日(木)

富山カントリークラブ

共催事業

《芸文協補助金の支出のない事業》

劇団芸芸座 第17回モナコ世

界演劇祭派遣事業

8月15日(日)～24日(火)

モナコ公国(予定)

協力事業

《芸文協補助金の支出のない事業》

富山県庁OB会設立50周年

記念公演

※新型コロナウイルス感染症

の影響により中止

役員の変動

敬称略*新任のみ

《顧問》 山本 修

《理事》 柴田 康夫

《参事》 白川 莊子

《参事》 宮田千嘉子

《参事》 前田 京子

《参事》 立野 藍

事務局の変動

敬称略*新任のみ

《参与》 富士原文以千乃

《参与》 木口 文代

《事務局幹事》 朝野 隆雄

《事務局幹事》 四十谷敏子

《事務局幹事》 片山 直子

《事務局幹事》 吉井 美穂

《事務局幹事》 松村奈美子

《主事》 鎌 智晴

訃報

国立美術館理事長等を歴任された柳原正樹氏が4月29日に逝去されました。

生前、富山県の芸術文化の振興と発展、また芸文協の諸事業に対して多大な貢献をいただきました。ここに深く感謝いたしますとともに、ご冥福を心からお祈りいたします。

一般社団法人 富山県芸術文化協会役員名簿

令和3年6月

役員	区分	氏名	備考	役員	区分	氏名	備考
名誉会員	学識経験	菅野昭正 川本皓嗣	フランス文学者 比較文学者	理事	学校吹奏楽	加藤祐行	富山県学校吹奏楽連盟代表
〃	〃	〃	〃	〃	オーケストラ	篠崎秀一	富山県オーケストラ連盟代表
顧問	学識経験	高木繁雄 齋藤滋	(公財)富山コンベンションビューロー会長 富山大学学長	〃	能楽	館聖人	富山県能楽団体連絡協議会代表
〃	〃	梅津時比古	桐朋学園大学院大学学長	〃	演劇	平田義人	富山県演劇団体連絡協議会代表
〃	〃	山本修	富山県文化振興財団理事長	〃	高校演劇	中崎圭子	富山県高校演劇研究協議会代表
〃	報道	山駒信雄	北日本新聞社社長	〃	日舞	藤間山	富山県日本舞踊協会代表
〃	〃	温井伸	富山新聞社社長	〃	洋舞	利田みさき	富山県洋舞協会代表
〃	〃	羽塚由彦	NHK富山放送局長	〃	舞台技術	野口康博	富山県舞台技術研究会代表
〃	〃	瀧脇俊彦	北日本放送社長	〃	詩吟剣舞	長井岳游	富山県詩吟剣舞連盟代表
〃	〃	中西修道	富山テレビ放送社長	〃	民謡(保存)	野上克裕	富山県民謡民舞連盟代表
〃	〃	山野昌道	チューリップテレビ社長	〃	民謡(普及)	柴田康夫	とやま民謡民舞団体協議会代表
〃	〃	吉村直樹	富山エフエム放送社長	〃	大正琴	信清秀晴	富山県大正琴連盟代表
〃	〃	尾島志朗	一般社団法人富山県ケーブルテレビ協議会理事長	〃	児童文学	小川哲哉	富山県児童文学協会代表
参議	洋画	林清納	洋画家	〃	小説	白川莊子	とやま同人誌会代表
〃	〃	萩中幸雄	洋画家	〃	詩	高橋修宏	富山県詩人協会代表
〃	〃	大門清廣	洋画家	〃	短歌	島山満喜子	富山県歌人連盟代表
〃	彫工	横山豊介	彫刻家	〃	俳句	中坪達哉	富山県俳句連盟代表
〃	〃	尾長保夫	工芸家	〃	連句	藤縄慶昭	富山県連句協会代表
〃	〃	川原和夫	工芸家	〃	川柳	坂下清子	富山県川柳協会代表
〃	〃	立川善治	工芸家	〃	華道	前田玲子	富山県華道連合会代表
〃	〃	立地秀生	工芸家	〃	茶道	宮永圭子	富山県茶道連盟代表
〃	書	江幡春濤	書家	〃	学識経験	西藤哲夫	富山県美術連合会会長
〃	書	浅岡節夫	音楽家	〃	〃	藤井武治	洋画家
〃	書	安念千重子	音楽家	〃	〃	中尾讓治	写真家
〃	書	藤間勤寿弥	日舞家	〃	〃	飯塚幸子	茶道家
〃	書	和田朝子	洋舞家	〃	〃	米原寛	郷土史研究家
〃	書	久郷秀男	舞台美術家	〃	〃	伊東眞稔	元芸文協事務局長
〃	書	堀田一子	華道家	〃	〃	遠藤稔	藝文とやま編集委員長
〃	書	磯野宗和	茶道家	〃	〃	有川圭美	国際交流
〃	書	久泉迪雄	歌人	〃	〃	黒川雅皓	邦楽家
〃	書	加藤淳	音楽評論家	〃	〃	石井駿	書家
名誉会長		小泉博 吉田泉	演出家 文芸評論家	〃	〃	津田海仙	書家
〃		〃	〃	〃	〃	畠山耕雪	書家
〃		〃	〃	〃	〃	水口香魚	書家
〃		〃	〃	〃	〃	阿波加蒼岳	書家
〃		〃	〃	〃	〃	廣野梨川	書家・日本北陸書道院代表
〃		〃	〃	〃	〃	大島明琴	書家
〃		〃	〃	〃	〃	大谷弓子	富山県児童美術研究会代表
〃		〃	〃	〃	〃	藤間勘登	日舞家
〃		〃	〃	〃	〃	谷井よう子	洋舞家
〃		〃	〃	〃	〃	松井希代恵	洋舞家
〃		〃	〃	〃	〃	和田伊通子	洋舞家
〃		〃	〃	〃	〃	岡部康宇山	邦楽家
〃		〃	〃	〃	〃	小坂智子	邦楽家
〃		〃	〃	〃	〃	水口純治	能楽指導者
〃		〃	〃	〃	〃	長瀬天帆	剣詩舞道家
〃		〃	〃	〃	〃	宮浦豊藍	民謡指導者
〃		〃	〃	〃	〃	筏井豊華城	民謡指導者
〃		〃	〃	〃	〃	麻生豊心笑	民謡指導者
〃		〃	〃	〃	〃	館昇栄	民謡指導者
〃		〃	〃	〃	〃	宮田千嘉子	大正琴演奏家
〃		〃	〃	〃	〃	能登清美	大正琴演奏家
会長		木下晶	文芸評論家	〃	〃	〃	〃
副会長		可西晴香	洋舞家	〃	〃	〃	〃
〃		酒井和佳子	華道家	〃	〃	〃	〃
〃		熊谷喜美子	彫刻家	〃	〃	〃	〃
〃		上田洋一	歌人	〃	〃	〃	〃
〃		舟本幸人	照明家	〃	〃	〃	〃
副会長専務理事		石田敬真	富山県日本画家連盟代表	〃	〃	〃	〃
〃		大澤三月	富山県洋画連盟代表	〃	〃	〃	〃
〃		田畑功	富山県彫刻家連盟代表	〃	〃	〃	〃
〃		池上猛	富山県工芸作家連盟代表	〃	〃	〃	〃
〃		大石仙岳	富山県書道連盟代表	〃	〃	〃	〃
〃		一ノ谷敏治	富山県写真連盟代表	〃	〃	〃	〃
〃		船木英明	富山県造形教育連盟代表	〃	〃	〃	〃
〃		河崎雅都美	富山県邦楽協会代表	〃	〃	〃	〃
〃		中井隆司	富山県合唱連盟代表	〃	〃	〃	〃
〃		重松秀子	富山県オペラ協会代表	〃	〃	〃	〃
〃		蒲地誠	富山県社会人吹奏楽連盟代表	〃	〃	〃	〃

役員	区分	氏名	備考	役員	区分	氏名	備考
参事	大正 琴道	前田京子	大正琴演奏家	参与	音楽	富士原文以千乃	邦楽指導者
		磯部実甫	華道家			木口文代	大正琴演奏家
		稲垣美梢	華道家			窪邦雄	演劇評論家
		山下瑞穂	華道家			谷井美夫	演劇活動家
		中川雅風	華道家			藤間寿賀藤	日舞家
		川合史光	華道家			山口翰	舞台照明家
		田中子峯	華道家			村松京子	民謡演奏家
		山田春	華道家			尾島さみ枝	児童文化活動家
		官腰昇	華道家			池田瑛子	詩人
		立野藍	華道家 <small>草月会富山県支部耀の会代表</small>			佐伯悦子	歌人
		浅生幸子	茶道家			工藤泰子	華道家
		飯野宣甫	茶道家			藤井聖代	華道家
		澤田宗基	茶道家			金剛寺桂子	華道家
		坪田好枝	茶道家			今井宗秀	茶道家
		丸箸芳悦	茶道家			宮口侗廸	地域文化研究家
		米澤宗貴	茶道家			吉友嘉久	コミュニケーター
		監事	茶 道 服飾 道 華学 識 経 験			我妻真美子	服飾研究家
宇津井慶和	華道家			吉村邦子	とやまこども芸術活動支援協議会		
堀内和夫	鑑賞会員代表			山辺知代	とやまこども芸術活動支援協議会		
坂田恵子	日本画家			有川圭美	邦楽家		
岡田繁	日本画家			黒川雅皓	日本画家		
砂子阪政巳	日本画家			竿下純子	洋画家		
温井喜央	日本画家			高畑信雄	彫刻家		
吉川信一	洋画家			川田良樹	工芸家		
柳田邦男	洋画家			十二町薫	書家		
谷内徹孝	洋画家			石川知恵子	書家		
吉澤孝郎	彫刻家			喜多埜草萌	書家		
長谷川総一郎	彫刻家			澤田実	写真家		
高橋勇男	彫刻家			音楽企画	稀音家		
加茂為志郎	彫刻家			廣本浩太	合唱指揮者		
宇津山三幸	彫刻家			丸山美由紀	演奏家		
青山幸一	彫刻家			村井義治	社会人吹奏楽指導者		
丸山真治	彫刻家			岩本博之	学校吹奏楽指導者		
志観寺範從	工芸家	川村文乃	演奏家				
前川正治	工芸家	芸能企画	朝野隆雄				
山本清	工芸家	藤間藤紗枝	日舞家				
海内保郎	工芸家	松下美規	洋舞家				
上森四郎	工芸家	水島尚道	剣詩舞家				
高岡由美子	工芸家	筏井豊翔	民踊指導者				
谷口信夫	工芸家	四十谷敏子	大正琴演奏家				
石井克代	書家	文芸企画	若栗清子				
経澤青汀	書家	生活文化	平井信一				
河合蘆洲	書家	片山直子	華道家				
黒田昌吾	書家	吉田充恵	茶道家				
向井俊久	写真家	事業支援	吉井美穂				
高橋鐵信	写真家	事務担当	松村奈美子				
堀田信一	写真家	主任	田嶋愛子				
長谷部律子	合唱指揮者	書記	鎌智晴				
小澤真	演奏家	舞台芸術祭専任職員	大橋麻里奈				
坂井禎	演奏家		西岡カタジナ				
横野昭	合唱活動家						

一般社団法人 富山県芸術文化協会事務局
〒930-0096 富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内
電話：076-441-8635(内線123) FAX：076-442-4635
E-mail：info@pat.or.jp URL：http://www.pat.or.jp/

第76回 県展

第76回富山県美術展を6月5日(土)から11日(金)の7日間にわたり開催しました。

昨年の県展は感染症の影響によりやむなく中止となりましたが、およそ2年ぶりに開催が叶った今回の県展には、搬入日初日から多くの出品があり、数々の力作が集いました。

今年是一般で903点の出品があり、そのうち593点が入選しました(入選率は65.7%)。県展会員作品は132点となり、合わせて725点の作品を一堂に展示。期間中には多くの来場者が訪れ、熱心に鑑賞していました。

各部門の県展大賞の受賞者は次の方々です。

【県展大賞】

- 日本画部門 藤田真千子
- 洋画部門 松原美樹子
- 彫刻部門 田畑 智功
- 工芸部門 志観寺 愛
- 書部門 片村 昂萃
- 写真部門 永山 勝久

(敬称略)

令和3年度中央通アートプロムナード・ほくぎんアートギャラリー ほくぎんアートプロムナード一番町・清水町 展示日程

中央通アートプロムナード

- 【会場】北陸銀行本店
中央通ショーウィンドウ
4月8日(木)～5月18日(火)
宮林 不倒(書)
- 5月20日(木)～6月29日(火)
河合 雅子(洋画)
- 7月1日(木)～8月17日(火)
澤田 規子(写真)
- 8月19日(木)～9月28日(火)
薄波 靖子(日本画)
- 9月30日(木)～11月9日(火)
堀澤 忠志(書)
- 11月11日(木)～12月21日(火)
熊木 保子(工芸)
- 12月23日(木)～
令和4年2月1日(火)
湯淵 杉苑(書)
- 令和4年2月3日(木)～
3月15日(火)
石川 光男(洋画)
- 令和4年3月17日(木)～
4月26日(火)
若崎 文絵(日本画)

丸山 幸一(彫刻)

ほくぎんアートプロムナード一番町

- 【会場】北陸銀行越前町支店
ショーウィンドウ
4月16日(金)～7月15日(木)
中林 雅代(彫刻)、
健名 文一(工芸)
- 7月16日(金)～10月15日(金)
真田 達雄(彫刻)、
海内 保(工芸)
- 10月16日(土)～
令和4年1月14日(金)
船木 佳彦(彫刻)、
上森 四郎(工芸)
- 令和4年1月15日(土)～
4月15日(金)
森田 一成(彫刻)、
土田 信久(工芸)

ほくぎんアートプロムナード清水町

- 【会場】北陸銀行清水町支店
ショーウィンドウ
4月16日(金)～7月15日(木)
谷口 信夫(工芸)
- 7月16日(金)～10月15日(金)
宇津 孝志(彫刻)
- 10月16日(土)～
令和4年1月14日(金)
池上 猛(工芸)
- 令和4年1月15日(土)～
4月15日(金)
熊谷喜美子(彫刻)

およろこびの人々

(令和3年3月以降受賞順)
敬称略(記名順不同)

- 第59回日本現代工芸美術展 現代工芸賞 加茂 薫
- 第98回春陽展 春陽会賞 桑島美代子
- 奨励賞 加藤 順子
- 南大路一賞 山村 泰雄
- 会友賞 石淵 順子
- 第50回記念日彫展 第50回記念特別賞 齋藤 尤鶴
- 国際演劇評論家協会タリア賞 鈴木 忠志
- 第30回記念工芸美術日工会展 日工会賞 志観寺 愛
- 第38回とやま賞 黒瀬 珂瀾
- 春の褒章 紫綬褒章 金森 穰
- 第30回記念北陸現代俳句大会 福井県知事賞、一句賞天位 森川 敬三

ご寄付

- 上田洋一氏 10万円
 - 布施征子氏 10万円
- 芸文協副会長の上田洋一氏と、故喜多野瑛氏のご息女の方布施征子氏から、芸文協創立50周年記念事業のために役立ててくださいます。ご厚志に深く感謝し、皆様に報告いたします。

子供たちのための伝統文化の体験機会回復事業 第4回 とやまこども舞台芸術祭併催 とやまこども伝統文化ワークショップ

参加者募集!
申込メ切 7月28日(水)

邦楽、連句、民謡民舞の体験ワークショップを開催します。参加無料。未経験でも大丈夫! 楽しく伝統文化に親しもう! 親子で、ご友人で、ぜひご応募ください。
※新型コロナウイルス感染症対策を行い開催します。

申込方法: 氏名、住所、電話番号、年齢、参加希望ワークショップの番号とジャンルをご記入の上、郵送、FAXあるいはメールでお申し込みください。

申込先: 〒930-0096 富山市舟橋北町7-1 県芸術文化協会あて
TEL: 076-441-8635 (内線123) FAX: 076-442-4635 メール: info@pat.or.jp

詳しくは芸文協ホームページまで



『藝文とやま』第49号発刊

『藝文とやま』第49号を発売しました。巻頭言は工学博士で富山国際大学顧問の中島恭一氏、特別寄稿は富山県出身のサクソフオーン奏者雲井雅人氏にご寄稿頂きました。特集では富山の文化力を高めた「県民芸術文化祭」を取り上げ、二十五年間の歴史の中で様々な工夫や努力などを振り返り、富山県の文化の軌跡を辿りました。

『藝文とやま』は芸文協役員をはじめ、芸文協個人会員にお渡ししています。ご高覧の上、忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。なお、各加盟団体は団体毎にお渡しいたしますので、芸文協事務局までご連絡の上、受け取りにお越しくさいますようお願いいたします。

「とやま文学」第39号合評会

総合文芸誌「とやま文学」第39号の合評会を、6月6日(日)県教育文化会館501号室で行いました。

八島裕二編集委員長の進行のもと、初のZoom参加者を含む約30名が参加し、掲載作品について意見を交わしました。

「とやま文学」第39号「特集とやま文化の一断面―越中八尾おわら風の盆をめぐって」は芸文協事務局他に定価一、〇〇〇円(税込)で販売。芸文協会員は事務局で最新号一冊目のみ八〇〇円で購入頂けます。郵送でも販売(送料別途)しております。詳しくは事務局までお問い合わせください。

「第40回とやま文学賞」

小説・評論・児童文学・随筆・詩部門の選者を菅野昭正先生に、短歌・俳句・川柳部門の選者を川本皓嗣先生に、引き続き担当して頂きます。応募メチは令和3年9月30日です。たくさんのご応募をお待ちしております。

(募集要項は芸文協のホームページ <http://www.pat.or.jp/> よりご覧頂けます)

もよおしの記録と案内

芸文協が後援しています

- 第11回草月詩の会いけばな展 4月17日(土)～4月18日(日) 富山県護国神社
- 企画展「森 弘之―越の国のシユルレアリスム―」 4月23日(金)～6月27日(日) 射水市新湊博物館企画展示室
- 観世流富山松友会 春季大会 5月16日(日) 富山能楽堂
- クラシックの雫2021 富山の若き演奏家たちによる室内楽コンサートシリーズ 6月11日(金)～2022年2月12日(土) 富山市民プラザアンサンブルホール
- 現代工芸美術家協会富山会創立60周年記念 第59回日本現代工芸美術展富山展 6月24日(木)～6月29日(火) 富山県民会館
- 2021世界の児童画フェスティバル(富山展) 6月25日(金)～6月27日(日) 大谷芸術交流館及び「和」館(高岡展) 7月9日(金)～7月11日(日) 高岡市美術館
- 令和3年度「春季能楽大会」 6月27日(日) 富山能楽堂
- 西原稔ピアノ公開講座 7月18日(日) 富山県民小劇場オルビス
- 第59回可西舞踊研究所発表会 7月25日(日) 富山能楽堂
- 富山県高岡文化ホール 第56回田中バレエ研究所発表会 7月25日(日) 富山県民会館
- 第41回富山新能 7月31日(土) 富山能楽堂
- 津田ハレエスタジオ 第8回発表会 8月1日(日) 富山県高岡文化ホール
- 富山音楽院同窓会 第36回サマーコンサート 8月10日(火) 富山市民プラザアンサンブルホール
- 第2回日展富山会展 8月20日(金)～8月30日(日) 富山市民プラザ
- 第72回毎日書道展北陸展 8月22日(日)～8月26日(木) 富山県民会館
- 富山県立呉羽高校音楽部 第1回定期オペラ公演 8月29日(日) 富山県教育文化会館
- 富山能楽堂大探検 9月25日(土) 富山能楽堂
- 2021年花まつりフラワーデザイン展「花心論」 10月2日(土)～10月3日(日) 花まつりフラワーアカデミー
- 三日月の夜の演奏会 10月8日(金) 北日本新聞ホール
- 第44回豊昌会書展 10月9日(土)～10月11日(月) 富山県民会館ギャラリーC
- 第28回青井中展 11月12日(金)～11月28日(日) 青井記念館美術館
- 第23回和田朝子舞踊研究所発表会 12月12日(日) 高岡波文化ホール

事務局員のつぶやき

芸文協主事 田嶋愛子

私は、昨年度から芸文協加盟団体オンライン文化活動支援の担当を任されています。インターネットと一緒に育った世代として、オンライン活動に抵抗なく入ることができました。とは言っても、昨年度は新しい経験の積み重ねでした。事務局スタッフとして様々な

公演を拝見してきましたが、今回、特に文芸分野の俳句や川柳の句会にお邪魔し、オンライン句会では自分の句まで詠ませていただきました。

離れて暮らす父母は、オンラインでヨガレッスンを始め、すっかり使いこなしているようです。コロナがなかなか消えない一方で、私たちは柔らかい気持ちで新しいことにトライし、心

も体も元気でいきたいものです。



オンラインで遠隔教室にチャレンジ

